

3 費目別指数の動き

費目別に前年からの動きをみると次のとおりである。

食 料

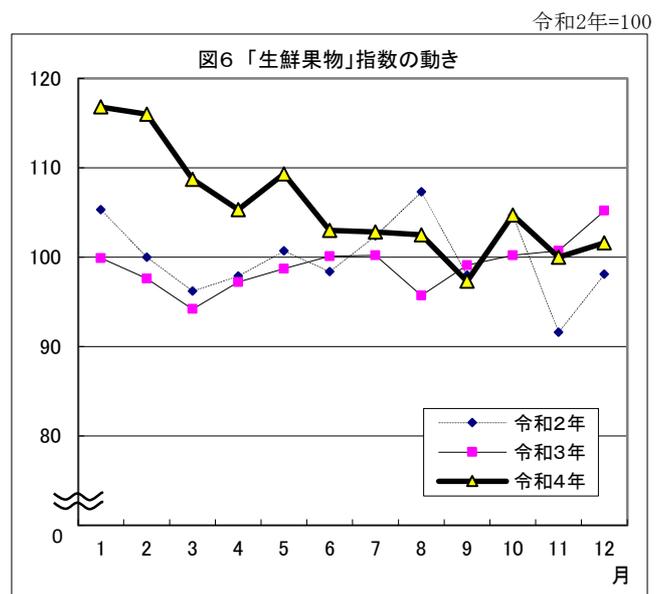
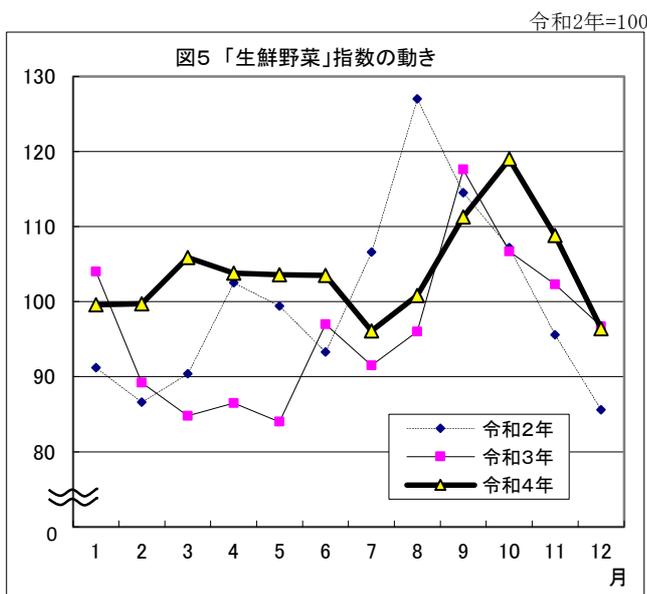
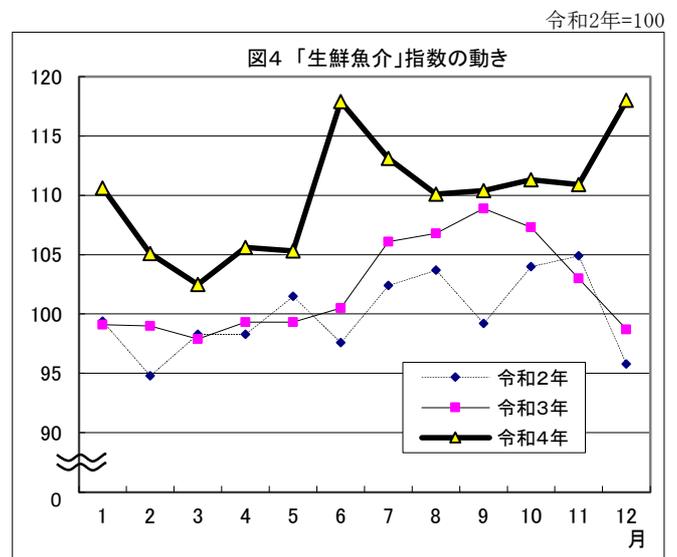
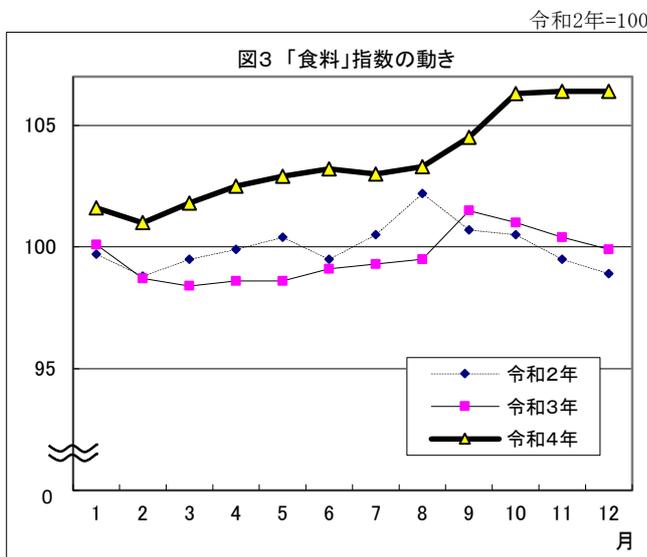
令和4年平均は103.6となり、令和3年平均に比べ(+) 4.0% の上昇となった。

内訳をみると、果物(+) 7.0% 、魚介類(+) 7.0% 、調理食品(+) 6.1% 、穀類(+) 5.9% 、野菜・海藻(+) 5.3% 、菓子類(+) 4.3% 、油脂・調味料(+) 4.3% 、外食(+) 3.2% 、乳卵類(+) 2.8% 、飲料(+) 2.0% 、酒類(+) 0.5% とそれぞれ上昇した。

一方、肉類は(-) 0.2% の下落となった。

生鮮食品についてみると、生鮮野菜(+) 8.0% 、生鮮魚介(+) 7.7% 、生鮮果物(+) 6.6% となり、生鮮食品全体では(+) 7.6% の上昇となった。

※ なお、月々の動きはグラフのとおり。(以下同じ)



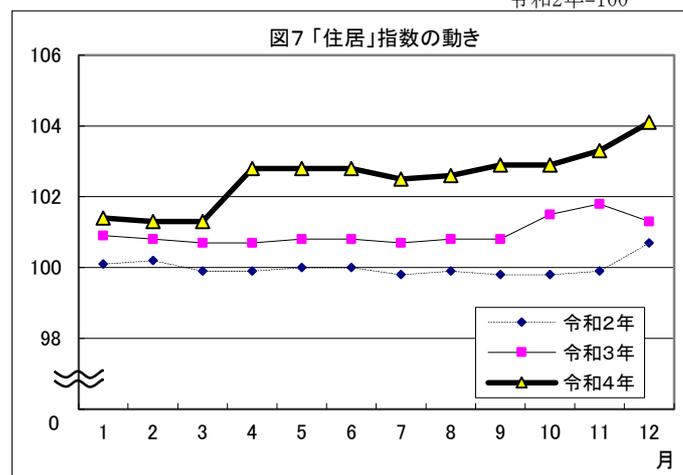
住 居

令和4年平均は102.6となり、令和3年平均に比べ(+) 1.6% の上昇となった。

内訳をみると、設備修繕・維持は(+) 14.7% の上昇となった。

一方、家賃は(-) 0.9% の下落となった。

令和2年=100

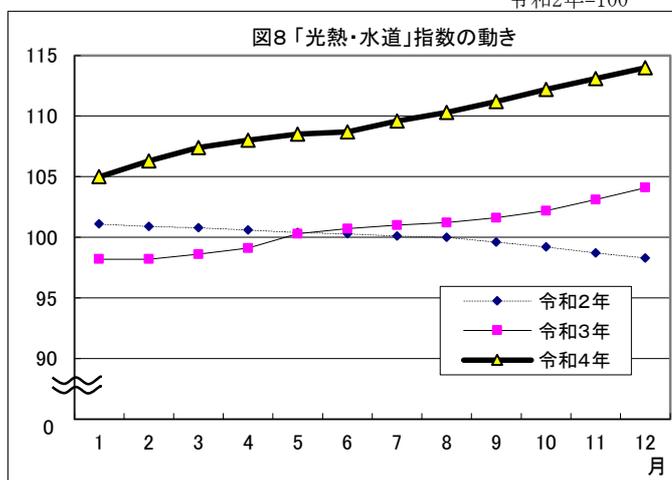


光熱・水道

令和4年平均は109.5となり、令和3年平均に比べ(+) 8.8% の上昇となった。

内訳をみると、上下水道料は変わらず。他の光熱は(+) 18.5% 、電気代は(+) 12.9% 、ガス代は(+) 9.1% の上昇となった。

令和2年=100



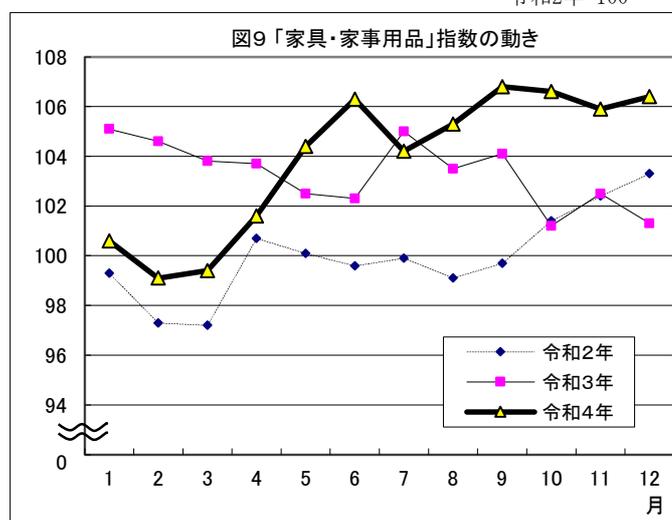
家具・家事用品

令和4年平均は103.9となり、令和3年平均に比べ(+) 0.6% の上昇となった。

内訳をみると、寝具類は(+) 5.9% 、家事雑貨は(+) 3.7% 、家庭用耐久財は(+) 1.5% 、家事サービスは(+) 0.7% の上昇となった。

一方、家事用消耗品は(-) 3.9% 、室内装備品は(-) 1.0% の下落となった。

令和2年=100



令和2年=100

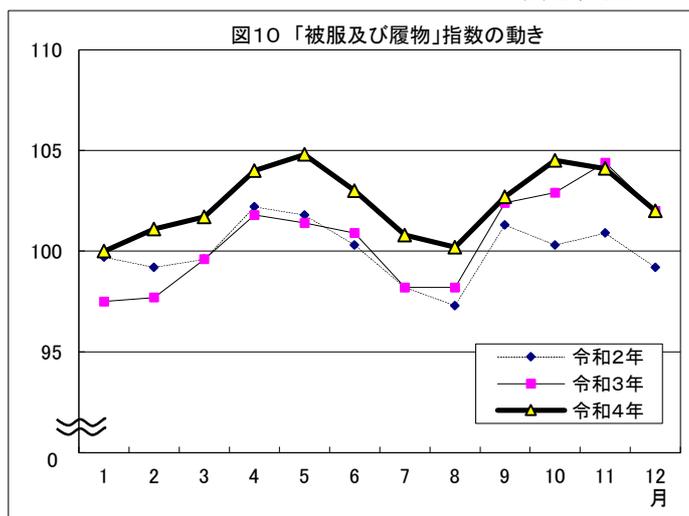
被服及び履物

令和4年平均は102.4となり、令和3年平均に比べ(+) 1.8% の上昇となった。

内訳をみると、和服は変わらず。

被服関連サービスは(+) 7.3% 、他の被服は(+) 4.3% 、シャツ・セーター類は(+) 2.9% 、洋服は(+) 1.3% の上昇となった。

一方、下着類は(-) 1.0% 、履物は(-) 0.5% の下落となった。



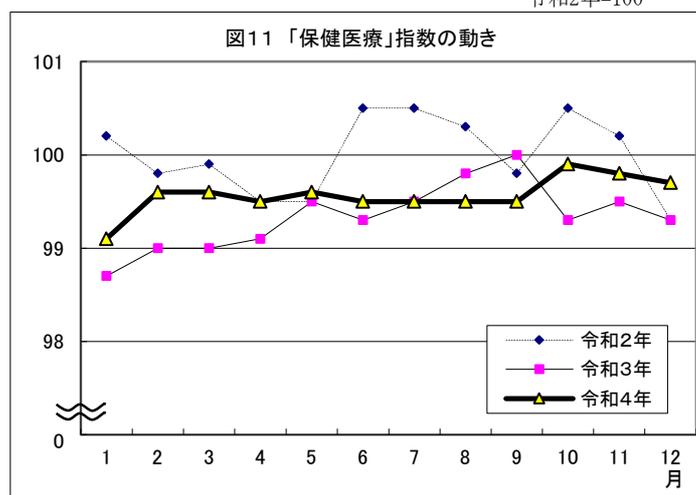
令和2年=100

保健医療

令和4年平均は99.6となり、令和3年平均に比べ(+) 0.2% の上昇となった。

内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は(+) 1.9% 、保健医療用品・器具は(+) 1.6% の上昇となった。

一方、保健医療サービスは(-) 1.2% の下落となった。



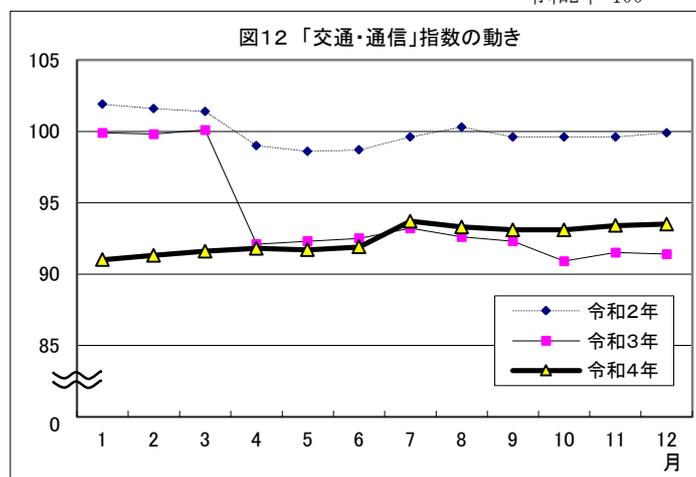
令和2年=100

交通・通信

令和4年平均は92.5となり、令和3年平均に比べ(-) 1.7% の下落となった。

内訳をみると、通信は(-) 13.5% の下落となった。

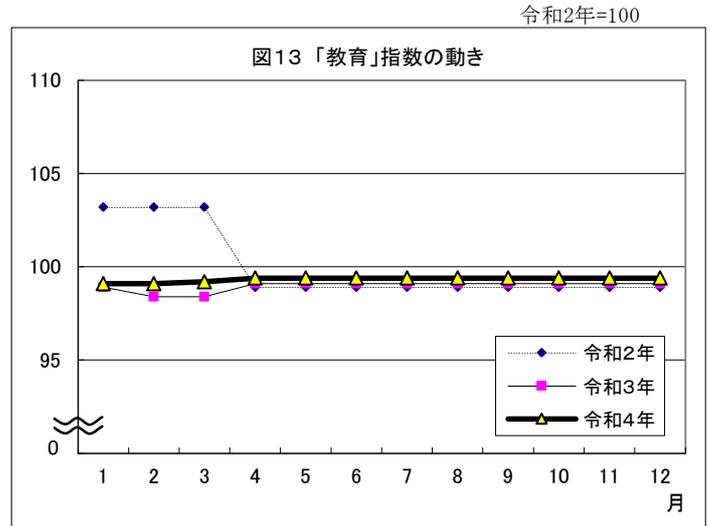
一方、自動車等関係費は(+) 2.7% 、交通は(+) 1.4% の上昇となった。



教 育

令和4年平均は99.4となり、令和3年平均に比べ(+) 0.4% の上昇となった。

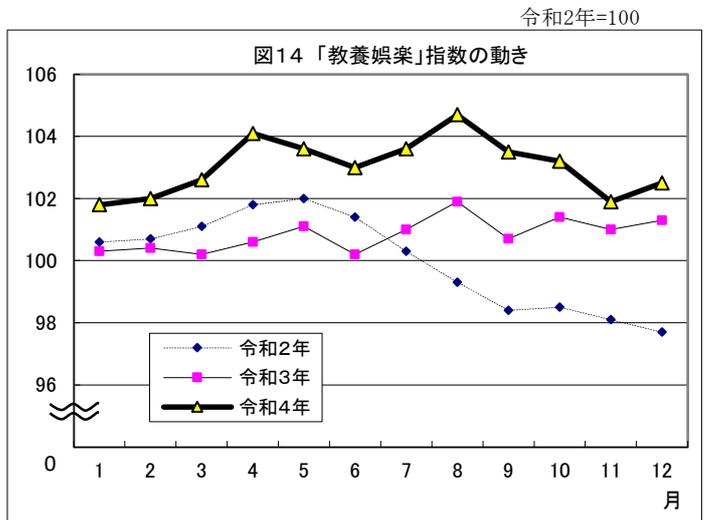
内訳をみると、教科書・学習参考教材は(+) 3.1% 、補習教育は(+) 0.3% 、授業料等は(+) 0.3% の上昇となった。



教 養 娯 楽

令和4年平均は103.1となり、令和3年平均に比べ(+) 2.2% の上昇となった。

内訳をみると、教養娯楽用品は(+) 5.1% 、教養娯楽用耐久財は(+) 4.0% 、書籍・他の印刷物は(+) 1.2% 、教養娯楽サービスは(+) 0.9% の上昇となった。



諸 雑 費

令和4年平均は102.6となり、令和3年平均に比べ(+) 1.6% の上昇となった。

内訳をみると、たばこは(+) 4.8% 、他の諸雑費は(+) 3.0% 、身の回り用品は(+) 2.9% 、理美容サービスは(+) 0.2% の上昇となった。

一方、理美容用品は(-) 0.6% の下落となった。

